

3大特集

柚木麻子
秦 基博
『3月のライオン』

【インタビュー】
浅田次郎
朝比奈あすか
有川 浩
有栖川有栖
逢坂 剛
恩田 陸
澤村伊智
高野 莓
古川智映子
柚希礼音
池松壮亮
玉森裕太
波瑠
松岡昌宏

ダ・ヴィンチ

DA VINCI NO.260 DECEMBER 2015 950YEN
12

本とコミックの
情報マガジン

平成27年4月13日第三種郵便物認可
平成27年12月6日発行 毎月1回6日発行

映画『グラスホッパー』
公開記念対談
生田斗真
×**伊坂幸太郎**

**3大
特集**

自分らしく生き抜く女性たちに、**1**
絶大なパワーを!

柚木麻子

『ランチのアッコちゃん』特別企画
アッコちゃん すし屋へ行く
【女子会対談】**ジェーン・スー**×**柚木麻子**
【マンガ】**香魚子**が描く
『**ナイルパーチの女子会**』

2

夢、その先にあるもの

秦 基博

ロングインタビュー

【同期対談】**水野良樹**(いきものがかり)×**秦 基博**
【インタビュー】**新海 誠**／**河瀬直美**
【トリビュートマンガ】**雁須磨子**／**志水アキ**

3

「決断」の11巻刊行&スピンオフ始動

『3月のライオン』

羽海野チカ ロングインタビュー

【インタビュー】**渡辺 明**／**森内俊之**／**先崎 学**／**大崎善生**／**西川秀明** 【寄稿】**北野新太**

『デンマーク人が世界で一番幸せな10の理由』



マレーヌ・ライダル来日インタビュー

国連の世界幸福度報告書で、2012年と13年の2年連続1位に輝いたデンマーク。日本は13年の43位から今年は46位に下がった。なぜデンマーク人の幸福度は高いのか？その疑問に答えた本『デンマーク人が世界で一番幸せな10の理由』の著者で10月に来日したマレーヌ・ライダルさんに話を伺った。



マレーヌ・ライダル●デンマーク出身。18歳で渡仏し、19年間パリで暮らしている。ハウスキーパーを皮切りにさまざまな職歴を経て、ハイアットグループのヨーロッパ・アフリカ・中東担当広報部長を務める。現在は文筆家、講演家。フランス大統領支援のもと経済学者ジャック・アタリが主導するポジティブ・エコノミー・フォーラムの諮問委員を務める。フランス時事雑誌「L'Express」の2014年の女性24人にも選ばれた。

世界幸福度報告書の評価基準は、富裕度、健康度、人生の選択の自由度、頼れる人の有無、汚職の少なさ、国民の寛大さの6つだ。その要素もふまえたさまざまな文献、データ、エピソードを整理した本『デンマーク人が世界で一番幸せな10の理由』の著者、マレーヌ・ライダルさんが世界各国で注目されている。18歳から19年間フランスで暮らしているの、国民性の違いは感じていました。ですから母国が世界で一番幸福な国に選ばれたとき、理由を探り始めていろいろなることが腑に落ちたのです。例えば、デンマーク人にとっての幸福は、個人的な意味が強いHappiness(幸せ)よりも、Well-being(満足できる生活状態)に近いこと。そういつたすぐには理解しにくいことを、本でわかりやすく伝えたいと思ったのです。デンマークの学校では、やりやすいことがあつたらとにかくやってごらんさい」とい

う教育を受けてきました。そのおかげで自分に書く才能があるかどうかなど気にせず、2年かけて書きあげました」
子どもの自主性を尊重する平等な教育システム。身の丈に合った夢を持つリアルリスト。この2つのポイントも、本書の幸せな10の理由に含まれている。
「この本の読者から、自分の考え方や人生を見直したとか、見直したいという感想がよく届きます。人は、自分がありのままの自分に近い状態でいられるほど、心が穏やかになり幸せを感じやすくなります。逆に自分に何かを強いたり、他人と比較してプレッシャーを感じると、自分自身からどんどん離れていってしまいます。ですから自分の手の届く範囲で、小さなやりがいや夢を持つことが、Well-beingにつながるっていくのです。私は、お金もうけや成功のためにやっきになっているデンマーク人を見たことがありません。そういうものを追い求めてい

る人は、ずっと車輪を回し続けるハムスターのように一生満足することはないでしょう」
幸福度が低い日本の問題点は、どう見ているのだろうか？
「日本の教育システムは偏差値主義の競争社会ですが、デンマークの学校は才能に優劣をつけません。貧富に関係なく誰でも無償で教育を受けられ、社会に出てから居場所を見つけられるようにするのが教育の目的なのです。さらに誰でも大卒などにおける高等教育を無償で受けられ、毎月約10万円の奨学金が与えられます。こうした教育システムや福祉制度の違いは大きいと思います。また、デンマーク人は仕事と私生活のバランスをとることも大切にしますが、日本人はまだまだ仕事の比重が大きいと聞きます。しかし今は、優良企業ほど従業員のワークライフバランスを大切する時代です。自分が働く会社にも変革を起こすためには、ひとりひとりが声をあげていくことが大切なのです」
最後に、Well-beingに生きるための3つのポイントを聞いた。

デンマーク人が世界で一番幸せな10の理由



Heureux comme un Danois

マレーヌ・ライダル

Maren Lydal

田中裕子訳



『デンマーク人が世界で一番幸せな10の理由』

マレーヌ・ライダル/著 田中裕子/訳
サンマーク出版 1500円(税別)

デンマーク人は、赤ちゃんを乗せたベビーカーをお店の外に置いたまま食事するほど人を信頼している。納税が好き。期待値が低いので幸せを呼び込みやすい。車よりも自転車が好き。列に割り込みされたときに唄う歌がある……。知ってびっくり読んで納得の、デンマーク人が幸せな理由の数々。日本人と比較しながら読むと、幸福になれない理由も浮き彫りになる。フランスの「オブティミスト書籍大賞2014」受賞。

「自分の心に正直になり、自分はこれでいいんだと認めること。健康で家族がいることを当たり前と思わず感謝すること。終わってしまった過去や予測不能な未来は考えず、今を精いっぱい生きることです。幸せは巡るもの。人は自分の幸福度はかり考えがちですが、誰かを幸せにできる人には幸せが返ってくることも、忘れないでほしいですね」